

図化名人作成データ活用例

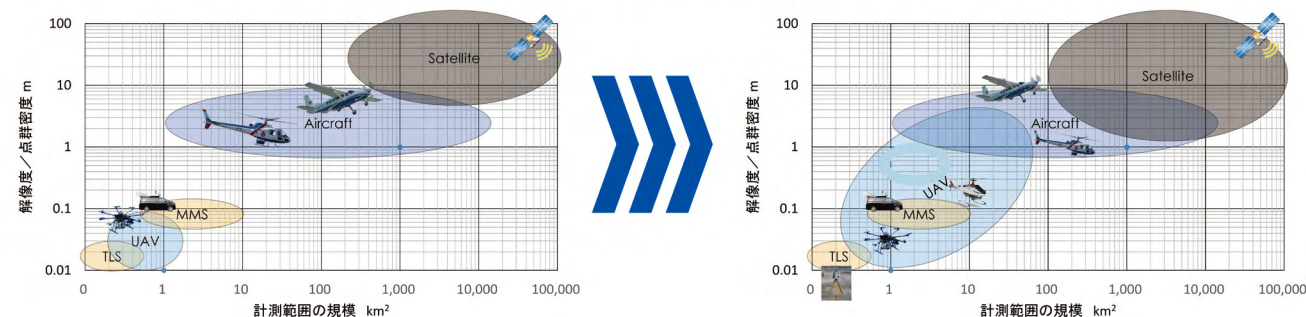
図化名人作成データ

- DM
- TIN
- DSM
- オルソ画像

これらのデータを利用し、
個別のアプリケーションソフトで加工する事により、
さまざまな形へと発展させることができます。

想定される計測プラットフォームの変化

2022航空法改正によりUAVの活用は山間地にとどまらず市街地での活用が期待されます。
また近い将来、UAVの高度化により飛行高度も変化すると予想されます。UAVを活用した
図化のニーズは、航測業界を大きく変える可能性があります。



機能一覧表

地図作成に必要な主要機能を
すべて標準装備

推奨ハードウェア仕様

機能	GE2 Genesis (航空写真版)	SA2 Satellite (衛星画像版)
プロジェクト管理	○	○
標準解析	○	○
自動DEM計測	○	QuickBirdは非対応
数値図化・編集	○	○
オルソフォト作成	○	○
オルソフォトモザイク	○	○
地上斜め撮影標準支援モジュール	○	—
オプション		
疑似ステレオモデル 三次元図形編集機能	○	—
国土基本図デジタルオルソ 作成仕様対応	○	—

対応PC	Windows® PC		
対応OS	Windows10、Windows11 ※64bit版OSでは、32bitアプリケーションとして動作します。		
CPU	インテル® Core™2Duoプロセッサ2.4GHz以上		
メモリ	4GB以上 (8GB以上を推奨)		
HDD	120GB以上 (作業領域として常に40GB以上の空き容量が必要)		
ドライブ	CD-ROMドライブ、サンプルデータを使用する場合はDVD-ROMドライブが必要		
グラフィック カード	インターレース対応ディスプレイの場合は、VRAM512MB以上のグラフィックカードが必要です。 フレームシーケンシャル方式の場合は、OpenGL対応のNVIDIA Quadroグラフィックカード (VRAM 1GB以上、Quadro®K620、P600、P620以上) が必要です。 フレームシーケンシャルモードは、ステレオ実体視用ディスプレイ、グラフィックカード、OS、ドライバ等の相性により正しく立体視できない場合があります。詳しくは弊社図化名人HPよりお問合せください。		
ディスプレイ 共通	【作業用ディスプレイ及び3Dディスプレイ共通】 17インチ以上 解像度SXGA (1280 × 1024) 以上		
3D ディスプレイ	【フレームシーケンシャル方式】 リフレッシュレート120Hz以上に 設定可能なディスプレイ	【インターレース方式】 インターレース方式対応ディスプレイ	【2画面立体観測方式】 2画面立体観測対応ディスプレイ ※メインディスプレイ含めて、ディス プレイポートが3つ必要です。
立体観測 装置	液晶シャッター式3Dメガネおよび 赤外線エミッタ (USB) のセット	3Dディスプレイに付属の3Dメガネ	3Dディスプレイに付属の3Dメガネ

システム構成例



●図化名人はアジア航測株式会社の登録商標です。●Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。●記載の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

お問い合わせは…

● お申し込みは ●

<https://meijin.survey.ne.jp/>



アジア航測株式会社

神奈川県川崎市麻生区万福寺1-2-2 〒215-0004
TEL:044-967-6183 E-mail:meijin_AAS@ajiko.co.jp



アジア航測株式会社



GE2
Genesis

航空写真・UAV版

図化名人

三次元数値図化システム

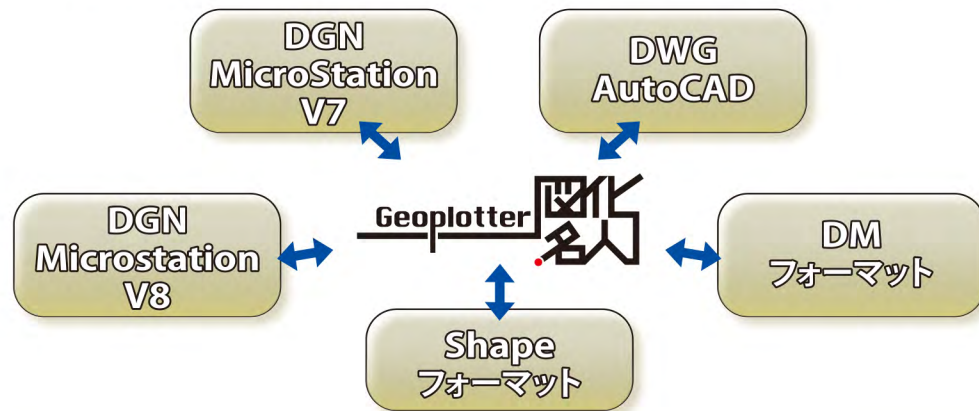
SA2
Satellite

衛星画像版

進化を続ける図化名人の写真測量技術

5フォーマットの図化データに対応!!

DGN/DWG/DMフォーマット/Shape対応



図化名人

三次元数値図化システム

プロジェクト管理

標定解析

自動DEM計測

数値図化・編集

オルソフォトモザイク

オルソフォト作成

図化名人は、デジタル航空写真または衛星画像を用いて、PCで三次元計測・図化・オルソ作成を行うソフトウェアです。地図作成に欠かせない多くの標準機能とライセンス使用サービスによる導入コスト低減の実現で、多くのユーザにご利用いただいております。

GE2 Genesis

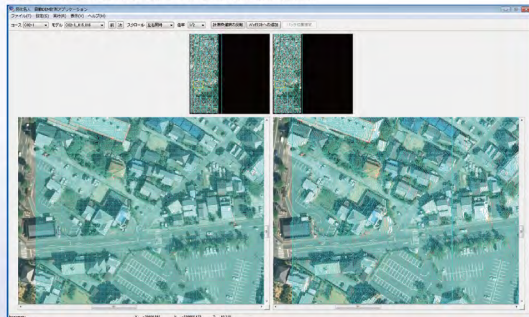
航空写真・UAV版

デジタル航空写真

- プロジェクト管理
作業に使用する航空写真の撮影縮尺、座標系、標定図、カメラ情報などの設定。
- 地上・斜め撮影評定支援モジュール
地上・斜めから撮影された写真画像の撮影点位置・視準位置を設定、調整。
- 標定解析
空中三角測量を行い、偏位修正画像を作成。



- 自動DEM計測
自動マッチング処理によって、DEM情報を抽出。



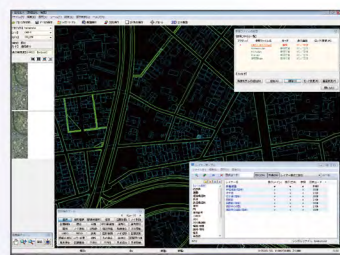
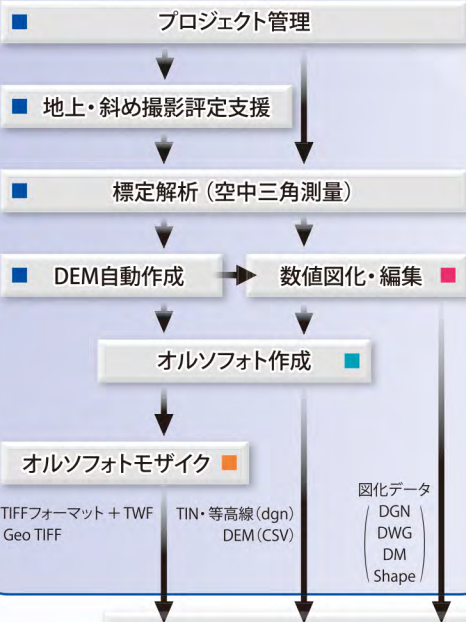
デジタル航空写真画像

UAV画像 (SfMによる空中三角測量成果)

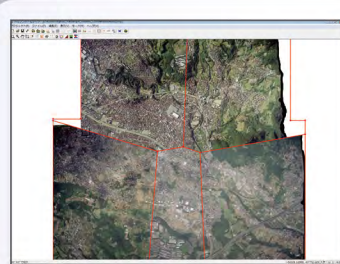
衛星画像

SfMデータ変換ツール

図化名人GE2の範囲

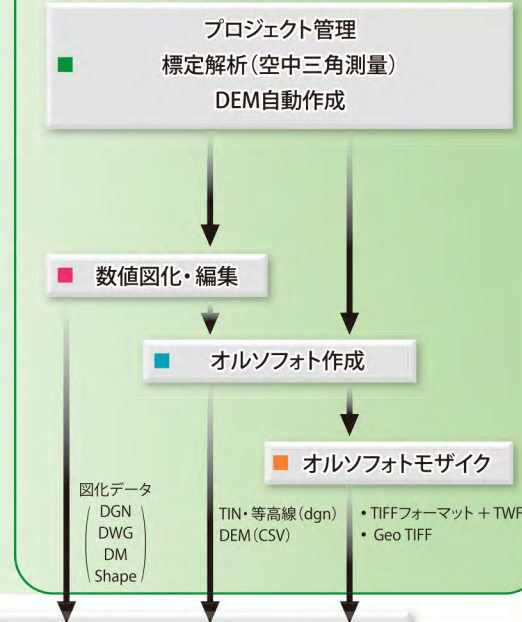


- 数値図化・編集
実体視しながら、三次元計測する数値図化機能。各種の三次元編集機能を搭載。図化と編集の工程が融合されることにより、後工程の編集作業を省力化。



- オルソフォト作成
計測点データや三次元図化データから、図郭または写真単位でオルソフォト画像を作成。等高線、正方メッシュDEM、TINデータも出力。
- オルソフォトモザイク
写真単位で作成したオルソ画像をモザイク処理。オルソフォト間の色調整機能も搭載。

図化名人SA2の範囲

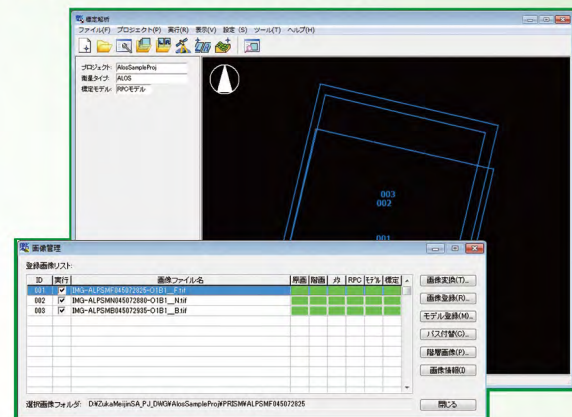


SA2 Satellite

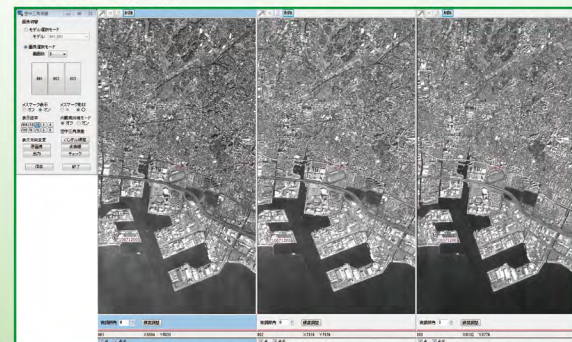
衛星画像版

- 【対応衛星画像】
(ステレオペアRPCモデル)
ALOS(1B1, 1B2), Quick Bird,
IKONOS, WorldView-1/2/3/4, GeoEye-1
SPOT 6/7, Pléiades

プロジェクト管理と標定解析を統合



標定解析画面



※上記画像はALOS画像を使用しております(著作権©JAXA 配布:RETEC)

成果品

DMデータ

他フォーマット
(DXFなど)

各種GISデータ

3Dデータ
(鳥瞰図など)

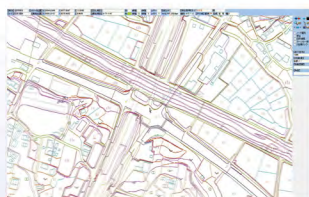
オルソ画像

印刷データ

オプション

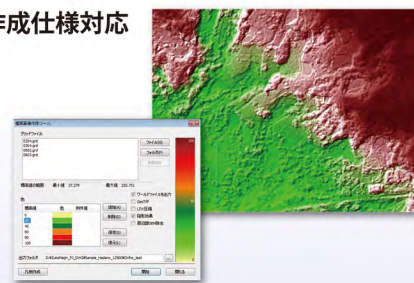
■ 類似ステレオモデル三次元図形編集 (数値図化・編集オプション)

- 要素編集用プロジェクト作成
- 既存DGNファイルから図化名人プロジェクトを作成し、航空写真なしで三次元データの簡易図形編集が可能(右図▶)
- 孤立ポリゴンの検索、要素の削除
- TIN塗りつぶし表示(地形強調表示)



■ 国土基本図デジタルオルソ作成仕様対応 (オルソフォト作成オプション)

- 経緯度図郭作成機能の高機能化
- 経緯度図郭情報のエクスポート
- グリッド形式DEM作成
- 写真単位の経緯度解像度オルソ作成
- 陰影段彩図、段彩図凡例作成(右図▶▶)
- 基盤地図情報DEM変換ツール(数値標高モデル10Mメッシュ変換機能)



■ SfMデータ変換ツール

SfMソフトウェアで出力した歪み補正画像と空中三角測量結果を、図化名人で取り込み可能な形式のデータに変換するためのツール。UAVで撮影した画像を図化名人で取り扱う際などに使用。

